

第4回柴田町総合計画審議会

令和5年3月16日(木)

【出席委員】(15人)

武田 則男、根元 俊一、阿部 道、大槻 尚之、大槻 善之、木島 基子、小泉 清一、
宮沢 秀夫、風見 正三、弓田 恵里香、笠松 直子、佐久間 楓、中村 紀香
大沼 耕一、佐藤 芳

【欠席委員】(5人)

大沼 健兒、西條 敏剛、平間 誠貴、三浦 きみ子、菊田 升三

【事務局職員出席者】

まちづくり政策課：課長 沖館 淳一、課長補佐 熊谷 英樹、主事 大森 観月

【日程】

○第5回柴田町総合計画審議会

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題
 - (1) 第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)に係るパブリック・コメントの結果について
 - (2) 第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)について
 - (3) 答申(案)について
- 4 答申
- 5 町長挨拶
- 6 閉会

— 午後5時00分 開 会 —

1 開会

○事務局 それでは、ただいまから第5回柴田町総合計画審議会を開催いたします。

本日、大沼健兒委員、西條委員、平間委員、三浦委員、菊田委員から欠席連絡がありました。

それでは、審議会の次第により進めてまいります。

初めに、風見会長にご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ

○風見会長 皆さん、こんにちは。

今日は実はこの前に秋田まで行っておりました、秋田からこまち乗り継いで来たんですけども、我々この仙台周辺というのは、いかに乗り物に恵まれているかよく分かりまして、盛岡からが結構鬼門なんです。鈍行になりまして、大崎通って、やっとたどり着きました。懐かしい我が町に帰ってきた、そういう安心感があります。

今年度は大変お忙しい時期にお集まりいただきましてありがとうございます。この柴田町総合計画審議会、いよいよこの5回目ということになるわけですが、これまで本当に様々なご提案、ご意見をいただきまして、今日、このパブリック・コメントのほうも確認させていただきながら、案も出来上が

ってきておりますし、答申案についてもお目通しいただいたところだと思います。

やはり何より協働のまちづくりというのもこの柴田町の大きなテーマですけれども、やはり課題なのは、住民参加、地域の方々が本当に参加できる機会を造ることというふうに思いますので、今日、答申というもので、最後の審議になりますが、それを踏まえて町長のほうに答申を申し上げて、実際に動き出すのはこれからということになりますので、今日に当たって、皆さんでもう一度しっかりと内容を見極めて、町長への答申に向かっていければというふうに思います。

大変お忙しい中、ありがとうございます。

早速、審査を始めさせていただきたいと思います。冒頭のご挨拶といたします。本日もよろしくどうぞお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、3の議題に入りますが、進行を、審議会条例の規定によりまして、風見会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

3 議事

○風見会長 ありがとうございます。

それでは、早速議題のほうに入ってまいります。

最初に、議題の1、第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)に係るパブリック・コメントの結果について事務局のほうからご説明をお願いします。

○事務局 それでは、資料の1、事前に配付しておりますパブリック・コメントの結果についてをご覧くださいと思います。

パブリック・コメントについては、2月1日から3月2日までの30日間実施し、124組の方から意見等の提出がありました。うち、水害対策に対する要望等が122組、障害者とその介護をする家族への支援要望が2組となっております。

特に水害対策について、令和元年の台風19号で被災した方、下名生地区在住の方2名の方が署名活動を募り、近隣、知人から意見書を集めて町に提出したものです。町では、これまでの対応状況や考え方をまとめたものを住所の記載のあった下名生地区関係者105名、船迫地区11名に対して3月10日付で郵送しております。その郵送した内容が、本日追加資料で配りました回答内容及び町の考え方・対応案ということになります。

こちら、1ページですけれども、左のほうに、令和元年台風19号による水害についてということで、それぞれ(1)から、剣水・剣塚地区の水害の状況と発生要因について、それぞれ出てきた意見をまとめまして、右側に対応策としてそれぞれ各課で記載していただいた内容をもって各関係者のほうに通知し

てございます。

今後、この内容、文言等を整理しまして、月末にはホームページ等でパブリック・コメントの結果を掲載する予定となっております。

以上となります。

○風見会長 ありがとうございます。

大変多くのご意見が寄せられたということ、大変喜ばしいことだと思います。関心を持っていただけるといふことですからね。

以上の今ご説明いただいた内容ですが、何かご意見、ご質問等ございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 これ、全文、ホームページに載るんですか。

○事務局 ちょっと文言を整理してからホームページ上に掲載する予定です。

○風見会長 これについては、むしろ、この全体の基本計画を今後進めていく上での住民からのいろんな視点ということで、それに真摯にお答えしながら、実施の計画を立てていくということになりますかね。

もしよろしければ、これ、またご覧いただいて、また今後、事務局に様々なこういう面があるんじゃないかとか、ご提案、ご意見があればいただければと思いますが、先ほど、これはこうした報告ということで、これだけたくさんの方々が注目していただいているということで審議会としては承っておこうかなと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○風見会長 ありがとうございます。

よろしいですか。よろしいでしょうか。

それでは引き続きまして、2番目、第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)について、こちらのほう事務局からご説明いただきたいと思っております。

○事務局 それでは、資料の2、第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)をご覧いただきたいと思っております。

2月1日付けで送付した計画案から変更部分を赤字で表記したものになります。庁内での修正やパブリック・コメントなどで修正したものです。

主な変更部分になりますが、まず11ページのほうをご覧いただきたいと思っております。

まちの将来像です。

まちの将来像は基本構想と変わりありませんが、後期基本計画では、「緑豊かなガーデンシティを創

造」を入れて、訪れてみたいと思われるまちづくりを推進するというので、今後4年間の未来像を追記してございます。

次に、42ページをご覧くださいと思います。

下の個別施策2-1-3、流域治水対策の推進の一番下の丸の局地冠水地区における雨水対策工事の実施に、今回のパブリック・コメントの意見を踏まえまして、下名生・西住地区を追記してございます。

次に、61ページをご覧くださいと思います。

下の個別施策3-2-3、子育て家庭への支援で、一番下の部分ですが、「入学祝金の見直しや子育て応援金支給事業の導入の検討」と記載していた部分を「入学祝金の見直しや出産祝金の導入を検討」に変更してございます。

次に、最後、73ページのほうをご覧くださいと思います。

こちら、事前にお配りしております菊田委員からの意見書で、旧奥州街道の宿場町として町内で2つの宿場町にスポットを当ててPRをとのことでしたので、この赤い字の部分を追記してございます。

菊田委員は本日急遽お休みとなっております。

「旧奥州街道の宿場であった船迫や槻木を中心に、旧街道筋に残る史跡や景観を身近な学びの場として活用することで、郷土の歴史への理解を深めます」ということで、生涯学習課を通して個別施策のほうに記載をお願いした部分でございます。

次に、資料集のほうで、107ページ以降がこの計画に付随する資料となります。

113ページのほうをご覧くださいと思います。

こちら、後期基本計画を策定するまでの経過となっております。

115ページのほうには、本日の審議会で答申(案)ということで記載してございます。

次に、118ページです。

皆様審議会の方の氏名と役職等を掲載させていただいてございます。

次に、122ページ、いまだ空白でございますが、本日、答申案が承認されましたら、2ページにわたって答申案をここに入れる予定となっております。

123ページ以降が、昨年実施したまちづくりアンケート調査の概要を載せております。

以上が後期基本計画(案)についての概要となります。

○風見会長 以上でよろしいでしょうか。

ただいまご説明いただきましたとおり、今までのご意見を反映させていただいて赤字になっております。特に文化的な要素のお話もありましたし、大変よく分かるようになったんじゃないかなと思います。

そういうようなところご覧いただきまして、いかがでしょうか。案についての最後まで見てのご意見いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○風見会長 ありがとうございます。

ほかに何かお気づきの点があれば。

○委員 意見ではないんですが、35ページのところの資料のところ、日時が載っているところがあるんですけども、これ令和4年と令和が入ったらいいのかなと思ったんですが、そのほうがちょっと後に分かりやすいのではないのかなという。

○事務局 各種団体ヒアリングのところの。

○委員 はい。

○事務局 そうですね、そうしたら令和4年の日付を追記させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○風見会長 ありがとうございます。目を皿にして見ていただいたんですね。ありがとうございます。

これは印刷までには、案としては、この内容的には合意いただいたということで、細かい点があったら、また何かの機会にお気づきの点があれば言っていただくということで。これだけの報告書ですから、ちょっとまだ間違いが見つからないか心配ですけども、事務局がしっかりと見ていただけたと思います。

何かほかにご意見ございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○風見会長 それでは、ここまで審議してまいりましたけれども、いよいよこの後期基本計画が定まりました。本当に活発なご議論ありがとうございました。

次に、今日答申ということになりますので、答申の内容、次第について事務局から、答申案についてのあれですね、ご説明いただければというふうに思います。よろしいですか。

○事務局 それでは、資料3、答申案をご覧ください。

本審議会から町への答申案となります。

表紙の部分は、前回、第4回審議会時にご提示したものと変更はありません。

別紙として、裏面をご覧ください。

柴田町総合計画審議会からの意見・要望等ということで、1、少子高齢化社会を迎えて、4つのエリア(東船岡エリア、槻木駅エリア、船岡駅エリア、船迫エリア)を拠点したコンパクトな都市整備が最優

先課題ですので、計画の推進を望みます。

2として、「花のまち柴田」は、私たち町民に安らぎと誇りを与えてくれています。今後とも四季折々の花々を中心としたイベントの拡充を行っていただきたい。なお、老朽化した各施設等の再整備を早急に実施していただきたい。

3として、柴田町の経済基盤をなす産業振興は、町の発展に重要不可欠です。今後とも、住民が安心して働ける場として、町と農業、工業及び商業をはじめとする各種関係団体が協力し、振興拡大を図っていただきたい。

4として、近年、社会的に孤立したまま、誰にもみとられることなく、亡くなった後に発見される孤立死が社会問題となっている。孤立死を防ぐため、地域で互いに連携を図れるような対策を望みます。

以上の4項目の内容になります。

こちらは3回ほど郵送により皆様の意見を調整したものとなります。小泉委員、大槻尚之委員、笠松委員からのご意見によりまとめたものとなります。

この内容でよろしければ、本日、風見会長に署名をいただきまして、町長へ答申する予定でございます。

以上になります。

○風見会長 ご説明ありがとうございます。

以上、ご説明いただきました内容、ご覧いただいているかと思いますが、何かご意見ございますでしょうか。

答申の大体スタイルとしては、こういうふうな別紙のほうに詳細を書いて、答申した内容は総括的なことを書くということになっておりますので、併せて読んでいただくということになると思いますが、いかがでしょうか。これだけで言い切れないところはたくさんあると思うんですが、このような形で、今、事務局案、事務局の説明いただきました。いかがでしょうか。

主要な言葉は入っているのかなというふうに思いますが、ただ、この答申を踏まえて、この基本計画全体の実施をしていただくということですが、よろしければ、これを答申としてまとめまして、滝口町長のほうに今日答申するという運びになろうかと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○風見会長 ありがとうございます。

それでは、以上でこの答申の案ができたということになりますので、この内容で答申、そしてまた、これから答申の、次第のほうをここでお下げいただきまして、実際に答申のほうに入りたいというふうに思いますが、事務局のほうから次第のほうよろしく願います。

○事務局 それでは、この答申書に風見会長に署名をお願いします。

風見会長から町長にこの場で答申いただいています。風見会長には答申書の表書き部分を読むことで答申とさせていただきます。

では、署名を風見先生。

(署名)

○事務局 この場を借りて今後のスケジュールをご説明させていただきます。

本日で審議会のほうは終了となります。総合計画については、最終的な文言を整理した上で、3月22日の庁内の策定委員会で決定いたします。その後、計画書を印刷し、皆様をはじめ関係機関へ配付、町ホームページにも全文を掲載いたします。また、町民への情報提供としては、5月に全戸配布の広報紙に概要版を掲載して情報の共有化を図ってまいります。

以上となります。

町長が来るまで少々お待ちください。

(滝口町長入室)

○事務局 それでは、町長が参りましたので、風見会長から町長に答申をお願いします。

○風見会長 答申。

令和5年3月16日、柴田町長、滝口茂様。

柴田町総合計画審議会会長、風見正三。

第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)について。

令和5年1月26日付諮問されました第6次柴田町総合計画後期基本計画(案)について、当審議会で集中的かつ慎重に審議した結果、その内容はおおむね妥当なものであると認めます。

人口減少や少子高齢化などの社会状況への対応は全ての施策の共通課題だと認識し、基本構想に掲げられたまちの将来像を実現するため、財政の中長期的な見通しを踏まえながら、具体的な実施計画を策定し、着実に計画を実行されますことを求めます。

なお、まちづくりの主役である町民が求める行政ニーズを的確に把握し、一人一人が地域に愛着と誇りを持てるまちに育て、これからも住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたいまちづくりを要望いたします。

最後に、当審議会において委員から出された意見・要望等を別紙のとおりまとめましたので、これについても十分に考慮した上、今後の町政運営や施策の推進に当たられますことを要望いたします。

以上、答申申し上げます。

よろしく願いいたします。

○事務局 それでは、本審議会から答申された柴田町長から挨拶申し上げます。

滝口町長、お願いいたします。

○滝口町長 皆さん、本当にご苦労さまでございました。

第6次の柴田町総合計画後期基本計画ということでございます。私も県庁で県の長期総合計画に2回ほど関わってきております。計画というと、どうしても夢物語を書く、夢物語を書くというのも一つの手法でございますが、やはり実現するということが一番大事ではないかなというふうに思います。

柴田町の総合計画は、議会からの要請もございまして、町長の任期と同じに合わせてあります。ですから、8年前につくったのが全体計画で、前期4年が終わりまして、その4年後の反省を踏まえて、今後4年間でやるということでございます。

今回のパブリック・コメントでは、いろいろな水害対策を寄せられましたけれども、やはりこの4年間の計画なものですから、また別なサイドで水害対策というのは長期的にやっていかなければならないということでございますが、やはり130名を超える方々が思いを寄せたものですから、一人一人に町の考え方を直接回答させていただいたということでございます。

そうした思いを踏まえながら、今後4年間の社会の動きということになりますと、3万8,000人の柴田町に必要なのは、みんな集まって交流をして、新しい文化を創造できるような、そういう町をつくっていかないといけないというふうに思っております。我々の地域振興策は、産業政策をと、産業を誘致すると、そのために道路を造ったり、橋を造ったり、空港を造ったりというふうにやってきましたけれども、これから人口が減るということにつきましては、もちろん企業誘致は必要なんです、それ以上に、一人一人が集まって、町をどうしようかという、そういうエネルギーをつくる、そういう集まれる場所が必要だと私は思っております。

若い人たちがなぜ東京に行くかという、刺激ですね、いろいろな情報に接して、自分の可能性をそこに見つけたいということであります。特に女性の方々は、言葉は悪いんですが、おしゃれなまちですね、おしゃれなレストランに入って、おしゃれな服を着てという、そういう憧れがございまして。それを柴田町に造れといってもそれは無理な話なんです、やはり1回切りのスペース、場所じゃなくて、プレース、要するに目的を持った場所が必要ではないかなというふうに思っております。

今回の一番の目玉は、具体的な事業、実は今日議会で通りました22億円のプロジェクト、図書館を核としたにぎわい拠点づくり、これが国に認められて、また、今日議会に認められましたので、この5年間に22億の投資をして、みんなが集まれる場所、プレース、そしてみんなが刺激をして、みんなで新しい町、文化を創造していく、そういう計画がこの町総合計画後期基本計画と裏腹の関係でできるということでございますので、今回の計画は単に文章を書いて棚に上げる計画ではないということでござ

います。

ただ、4年間の財源というのは限られておりますので、いろんな財源を活用させていただいて、ここに盛り込んだところを目指して、これから4年間頑張っていきたいと、そのためには、役場だけでまちづくりはできませんので、今日ご審議いただいた審議委員の皆様をはじめ、多くの町民がまちづくりに関わることが大変大事でございますので、これからもご指導お願い申し上げまして、雑駁ではございますが、ご挨拶とさせていただきますと思います。

風見先生は、柴田町のことをよくご存じだというふうに思いますので、先生にもこれからどうぞ見守っていただければなというふうに思っています。

本当に長い期間、委員としてご活躍いただきましたこと、感謝申し上げます、御礼の言葉とさせていただきますと思います。本当にありがとうございました。

○事務局 それでは最後に、武田副会長に閉会の挨拶をお願いいたします。

○武田副会長 委員の皆様には、本日の答申まで8か月間、5回にわたって熱心にご審議をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。

本日答申されました第6次柴田町総合計画後期の期間はこれから4年間であります。これからの4年間は、この審議の中でも分かりますように、これまでにない大きな変化の時期ではないかというふうに思っています。そうしたことを踏まえた計画になっているというふうにも思っています。

風見会長さんからの答申にもありましたが、滝口町長様はじめ町当局の皆様には、町民の気持ちにしっかり寄り添って、計画の着実な実現をお願い申し上げます。

委員の私たちも、住民参加の視点から、これからは一町民として見守るとともに、積極的に関わってまいりたいと考えています。

最後になりますが、本計画の策定に当たりご尽力されましたまちづくり政策課の職員の皆様はじめ町職員の皆様のご議論にも感謝を申し上げます。あわせて、審議員の皆様方のこれからのますますのご活躍をご祈念申し上げ、閉会の挨拶といたします。

大変ご苦労さまでした。ありがとうございます。

○事務局 以上をもちまして、柴田町総合計画審議会の一切を終了いたします。

大変お世話になりました。